

(様式 2)

令和6年度佐賀大学戦略的PSプロジェクト報告書

令和 7 年 3 月 3 1 日

国際交流推進センター長 殿

申請者 (代表申請者)

部 局 名 農学部

職 名 農学部長

氏 名 鈴木 章弘

下記のとおり報告します。

1. 大学間交流協定校 (国・地域)	スペイン王国・アルメリア大学		
2. 種別	B 国際共同教育型		
3. 実施代表者	辻田 忠志	4. 所属・職名	農学部・准教授
5. 連携部局	先進健康科学研究科・理工学部・ダイバーシティ推進室・ 海洋エネルギー研究所		
6. 国際共同 (教育) 研究 課題	再生可能エネルギーおよびバイオマスの課題解決教育		
7. 令和6年度の実施内容			
8. 参加者数 ※参加者名簿も併せてご 記入ください	参加者数 _____ 名 内、教員・研究者数 _____ 名、学生数 _____ 名		
9. 事業を通じて得られた 成果及び今後の計画 ※事業実施の様子につい て、写真を3枚程度提供 ください	<ul style="list-style-type: none">● ERASMUS+による教員往来 Jose Maria Fernandez Sevilla先生が令和6年7月6-12日まで 本学に滞在し、研究紹介などをいただいた。期間中、理工学 部、農学部に滞在して、PSプログラムの打ち合わせなどを実施 した。● 第2回UAL-SU symposiumの開催 令和7年UALで実施される、Blended Intensive Program (BIP) (国際的PBL教育) 対面プログラムについての詳細内容 の説明と、佐賀大学への留学についての説明会を実施した。● SUSAP-Almeriaの実施		

昨年度からUAL側と協議を続けていた、SUSAPアルメリアプログラムを実施することができた。プログラムの実施調整、学生への紹介、リクルートに関しては国際交流推進センターの石松先生が取り組まれ、本PSメンバーは補助的に関与した。結局本学から、14名の学生が選抜され、令和7年2月14日-3月3日にかけてアルメリア大学に滞在し、スペイン語研修、UALでのSDGsへの取り組みなどについて研修を受けた。

- BIP参加学生の選抜

BIPについては、UAL Hugo Gonzaraz氏と打ち合わせを重ね、ERASMUS+での支援にて、本学側から3名の学生を派遣することとなった。本学からは6名の応募があり、国試交流推進センターの面接によって3名が選抜された。これらの学生はDigital Transformation of Agro Companies（6月30日-7月4日）およびSustainable Biotechnology Entrepreneurship: Microalgae & Human Food（7月8日-7月17日）の2プログラムに参加し、令和7年度に現地で研修を受けることとなった。

- SUSAPおよびBIPの継続実施に向けた協議

PSメンバーの辻田は、UAL側との更なる連携に向けた協議を2月20—27日にかけて、現地でSUSAP研修中の本学の学生との意見交換、UAL Hugo氏、Tania氏との今後の連携確認、農学関係の部局の視察、意見交換などを行なった。現地では、今後、佐賀大学への留学を希望する学生に向けて個別相談を実施し、PSの資金やERASMUS+のmobilityなどを活用する方策について意見交換を行った。

【令和6年度】

本年度もUAL国際交流室および実務教職員と協議して、下記の項目を設定することとした。

- (1) 藻類バイオマスの効率的生産および新規有用種の選抜。生産物の利活用を目指した機能性評価方法の確立。
- (2) 施設園芸施設で生産する農作物の高度化および生産条件の精緻化研究
- (3) 豊富な自然エネルギーを活用した再生可能エネルギー生産の効率化

	<p>(4) 先進インクルーシブ教育のための課題解決</p> <p>SU側実務教職員のワーキンググループ（以下WG）では、すでに上記（1） - （4）をテーマとしてPBLを実施していることを確認している。一部において外国人留学生の参加もある。</p> <p>令和5年度において、すでにアルメリア大学で先行実施しているBIPの準備に本学の学生1名が参加したが、2-7月で実施されるプログラムのため実際のプログラムには参加できていない。そこで、本年度は、WGで（1） - （4）のうち少なくとも1項目をテーマに挙げ、UALで7月に実施されるBlended International Internship Program (BIP)（国際的PBL教育）対面プログラムに講師・オブザーバーとしてスポット対面・WEB参加を計画している。学生もWGで選抜の上、対面参加させるため協議を進めている（本PSもしくはJASSO協定校派遣プログラムなどを活用）。</p> <p>同時に、SUSAP短期留学プログラムも3月にUALで実施予定であるので、1月に（オンライン中継を想定）の開催を予定する。なお、本年度は運営をUALに留学した、または留学する学生に演者の選抜などを計画してもらう予定とする。</p>
	<p>【令和7年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Juan Jose先生インターンシップの受け入れ ERASMUS+にてUAL側からJuan Jose先生をインターンとして5月26日から6月11日にかけて農学部辻田の研究室で受け入れる。期間中、本学における国際交流の取り組みや、佐賀県下における微細藻類研究について意見交換や現地視察を行う。 ● BIPへのメンターとしての参加 UALで実施されるBIPプログラムに本学から3名の学生を派遣する予定としているが、期間中メンターとして参加できる教員を派遣する。 ● 第3回UAL-SUシンポジウムの開催 1月をめぐりにBIPプログラムや長期研修を受けた学生の報告会を実施し、学生に運営を任せるなど、教員が手を貸さずとも実施できる体制に持っていきたい。
	<p>【令和8年度以降】</p> <p>BIPやSUSAPプログラムを持続できるように、EU側の資金や、国内</p>

	の資金を獲得して、今後も継続できるように計画する。
10. 支出額	<p>金額 <u>667,770円</u></p> <p>(内訳)</p> <p>謝金 <u>30,150 円</u></p> <p>(具体的に：UAL-SUシンポジウム運営・開催準備)</p> <p>旅費 <u>585,220 円</u></p> <p>(海外渡航費58万円×研究者1名)</p> <p>消耗品費 <u>35,500 円</u></p> <p>(具体的な使用用途：UAL-Suシンポジウム有無弁当代など)</p> <p>雑務費 <u>16,840 円</u></p> <p>(具体的な使用用途： 海外旅行保険・Googleプラットフォーム利用料)</p>
11. 他の外部資金等への申請状況	R7年度JASSO協定校派遣プログラムタイプB申請中（代表者農学部：辻田）
12. 実施者アンケート	
<p>本事業の満足度（5（非常に良い）～1（非常に悪い））：4</p> <p>支援経費は適切であったか（5（非常に適切であった）～1（非常に適切でなかった））：4</p> <p>次年度以降も本事業の実施を希望するか：希望する</p> <p>そのほかコメント：実施者間の Good Practiceなどを情報共有する場が欲しい。報告会では、理事への報告だけ、批評を受けるだけなので、国際交流の現場で頑張っている事務職員さんや先生方と、もう少し密に交流できれば、本学が進むべき方向性が見えるのではないかと考えています。隣の人が何をしているのがあまりにもわからなさすぎます（農学部では担当者間で情報交換をしていますが・・・）</p>	

※欄内に収まらない場合、適宜、行を追加し、ページを増やしていただいても構いません。

※写真は学内外へ発信する広報に活用するため、映っている方々からの使用許諾済みのものをお送りください。また、写真データ（jpg または png）の送付をお願いいたします。（Word 貼付けとは別に）